

名古屋大学 大学院 創薬科学研究科

第90回 創薬科学セミナー

日時：2018年12月6日（木曜日）15:00～16:30

場所：創薬科学研究館2階 講義室

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります

講演タイトル：

モデル生物(酵母と線虫)を使った寿命研究

講師： **水沼 正樹 博士**

広島大学 大学院先端物質科学研究科

分子生命機能科学専攻 細胞生物学研究室 准教授

近年、カロリー制限に代表されるように食餌制限が老化・寿命制御の一要因として見出され、それらに関わるシグナル伝達経路が同定され、老化・寿命におけるカロリー制限の効果は世界中で最も解析・理解が進んでいる。最近、栄養状態や腸内細菌叢などの環境因子が原因で生じた特定の代謝産物が、細胞の分化、がん化、脳機能、免疫反応、さらに老化・寿命などの複雑な生命現象に甚大な影響を及ぼす例が見いだされてきた。したがって、代謝機構を標的とした研究は、加齢性疾患の予防ひいては健康長寿の実現にきわめて重要である。本セミナーでは、寿命研究でブレークスルーをもたらしている真核モデル生物である酵母と線虫で明らかにした寿命制御機構について、我々が見出した知見を中心に紹介する。

参考文献：

1) Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 113, 11913-11918, 2016., 2) Sci. Rep., 6:21611. doi: 10.1038/srep21611, 2016., 3) Aging Cell, 13, 869-878, 2014., 4) Cell Metab., 15, 713-724, 2012.

連絡先：創薬科学研究科 分子微生物学分野
饗場浩文 (aiba@ps.nagoya-u.ac.jp 内線6803)



名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University